

# 高来町の魅力再発見！ ～本明川干陸地の利活用～



長崎県 諫早市  
特定非営利活動法人 拓生会



## 1 社会資本の概要

諫早湾干拓事業により堤防内の水位が下がったことで元々干潟である場所が陸地化した、いわゆる干陸地が誕生しました。

干陸地は、本明川河口部となりましたが、基本的に除草等維持管理が行われないことから、樹木・雑草が繁茂、荒地化しユスリカなどの害虫が発生して



干潟が干陸地となり樹木・雑草が繁茂

いました。そのようななか「子供達が将来もこの地に住み続けたいと思えるような魅力ある地域を創りたい」という思いから、干陸地がある諫早市高来町の有志の方により、環境改善・保全活動が始まりました。

今では荒れた干陸地が県内屈指のコスモスの名所に生まれ変わりました。



生まれ変わった干陸地  
(雲仙普賢岳・本明川・コスモスのコントラスト)

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

コスモス植栽場所（干陸地フラワーゾーン）の土壌は、元々干潟であったため雨が降ると泥化し晴れが続くと固化するガタ土です。種蒔き後、雨が続きと種が流れてしまうような栽培条件が良いとはいえませんが、種蒔きの時期を見極め、時には種を2回に分けて蒔くなどの工夫をしながらコスモスの美しい景観を創りあげています。この景観を多くの方々に楽しんでもらうために観賞場所のバリアフ

リー化に取り組んでおり、車いすの観光客も多く訪れるようになりました。

また、年間を通じて干陸地の清掃活動に取り組んでおり、特に毎年開催する「諫早湾干陸地・本明川クリーン作戦」では、約1,200人も地域住民が参加し諫早市街部から干陸地までの清掃活動を実施しています。

## 3 活動の成果や波及効果等

干陸地フラワーゾーンはコスモススポットとして認知され、県内外より多くの観光客が訪れる観光地に成長しました。毎年10月下旬に開催しているコスモスまつりは、平成14年に100万本規模で開始しましたが、今では「300万本のコスモスまつり」となり、令和元年には過去最高の約24,000人が訪れました。

この干陸地フラワーゾーンでは、河川管理者の手が及ばない害虫の発生する荒れ地の環境が改善され、また、地域住民が維持管理することで住民間の結束が強まり、更には、地域振興の一役を担える新たな観光拠点が形成されており、三方良しの関係が構築されています。

干陸地が適切に維持管理できるように、河川管理者が干陸地フラワーゾーン周辺部に管理用通路を整備しました。この通路はクロスカントリーコースとしても活用できるようになっており、新たな賑わいを創出しています。



コスモスを観る展望台



クロスカントリーコース  
を走る県内高校生

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人 拓生会  
理事長 増山 忠男

### コメント

この度は手づくり郷土賞一般部門に選定頂きありがとうございます。

次世代の子供達に郷土の姿を脳裏に焼き付けられる風景を作りたい一心で取り組んで参りました。

これからも住み続けたいと思える高来町を目指し活動を続けて参ります。

### 活動の内容

- ・コスモスまつりを主催
- ・諫早湾干陸地・本明川クリーン作戦を主催
- ・干陸地の日常的な除草・清掃 等

### 活動の経緯

- 平成14年 100万本のコスモスまつりを開始
- 平成18年 NPO法人拓生会の設立
- 平成19年 諫早湾干陸地・本明川クリーン作戦の開始
- 平成25年 長崎河川国道事務所河川協力団体に指定
- 平成30年 コスモスまつり300万本規模に拡大

### 所在地

長崎県諫早市高来町深海地先

### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 拓生会 (0957-32-2005)

### 対象となる社会資本

本明川 干陸地  
※管理者：国土交通省長崎河川国道事務所



コスモス成長中の除草



車いすの来訪者



「諫早湾干陸地・本明川クリーン作戦」参加者